

SDGs勉強会始めました。

私たちのまちが好きだから、
自分たちで宇城市版のSDGsを考えてみよう。

私たちができることを
カタチにしよう

7月26日、宇城市ビジネスサ
ポートセンターで、SDGsの
勉強会が開かれました。楽天株
式会社の眞々部貴之さんを講師
に、「くまもと☆農家ハンター」
(宮川将人代表)が主催。この勉
強会は、世界で注目されるSD
Gsを地域の人たちと一緒に考
えようと始めたものです。

この日は、高校生や子育て中
のママ、県庁職員や農家など多
種多様な約30人が参加。宇城市
版SDGsのガイドブックを作
ろうと取り組み始めました。

楽天株式会社

サステナビリティ課 シニアマネージャー
眞々部 貴之 さん

profile

1983年、長野県安曇野市生まれ。東京
大学大学院新領域創成科学研究科修了。
NGO、総合シンクタンク研究員を経て、
2015年から現職。サステナビリティを担
当し、未来を変える買い物をテーマとした
「EARTH MALL with Rakuten」を楽天市場
内にオープン。楽天技術研究所にも所属し、
農家ハンターのサポートなども行う。



サステナブルな眞々部さんに
聞いてみた♪

Q SDGsにどのように取り
組めば良いでしょうか

A 「おまサス」II「お前はもう、
サステナブルだ」と言い合う

私は最近、SDGsのハード
ルを下げるために、誰かがサス
テナブルな(持続可能)ことをし
ていたら、「おまサス」だな、と
言っています。(笑)

皆さんが地域の物を食べてい
たり、当たり前になっていること
は、世界の課題とつながってい
ます。すでに「おまサス」です。

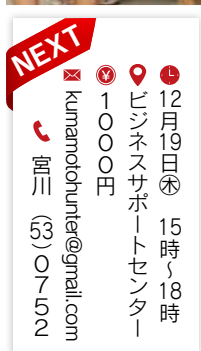
また、「これをしてはいけま
せん」と言われるより、「それっ
てサステナブルだね」と褒めら
れる方がいいですね。貢献し
ていることを認め合いましょ

う。そうすれば、より持続可能
な社会に近づくことができます。

Q なぜ、企業が地域課題解決
を目指すのですか

A 楽天の理念は多くの人々の
成長を後押しすること
共に良い影響を生み出したい

今まで社会や地域の課題解決
は非営利団体が主体になること
が多かったのですが、ビジネス
だからこそできるポジティブな
面もあります。地域と協働し課
題を解決していくことは、多く
の利用者や出店者を抱える楽天
にとっても欠かせないこと。テ
クノロジーやサービスを使い、
地方創生や社会貢献活動を行う
ことは理にかなっています。地
域と共に良い影響を生み出して
いきたいですね。



- 1 2030年の目標を持ち、写真に納まる参加者たち
- 2 すぐに取り組めることを紹介
- 3 参加者たちはそれぞれの目標を発表

- 4 17の目標と宇城周辺で起きていることを照らし合わせながら話す
- 5 サステナブルなジビエバーベキューも開催 次回も楽天の眞々部さんの分かりやすい話とジビエの試食が◎ お楽しみに！

「地域を災害から守る消防
団のようにイノシシから地域
と畑を守ろう!」を合言葉に
2016年から始めた獣害対
策。今年、「生物多様性と地域
社会を守るための農家の活動」
というタイトルと共にSDGs
の優良事例として国連の公式サ
イトで紹介されました。なんと
世界507事例の一つ。獣害対
策のサステナブルモデルになり
ました。

現在、捕獲したイノシシ
の肉をジビエにすることはもち
ろん、皮は革に、骨はペットの
おやつに、内臓は肥料として畑
に還元するなど、循環型モデル
を目指してジビエファームを建
設。地域を超えて獣害対策に取
り組む仲間を増やし、行政や企
業と連携する活動に成長。県内
の高校生とイノシシラーメンを

地域を守る活動は 未来を明るく照らす

勉強会を開いた「くまもと☆農家ハンター」の活動は SDGsの優良事例として国連でも紹介されています

開発したり、小川工高生と箱わ
なを製作したり、教育の場にも
活動を広げています。

「監視システムの改良などで
私たちの活動に協力してくれる
眞々部さんに、目標11ですねと
言われ、地域を守る活動はSD
Gsにも重なるのだと思いまし
た。企業などで盛んに取り組ま
れています。田舎に住む私た
ちこそ取り入れていきましょ
う。産学官民が連携し、みんな
で宇城市をより良く持続させて
いきたいですね。目指すは「S
DGs未来都市」と宮川さん。
今後も勉強会を開き、仲間と持
続可能な社会を築いていきます。

くまもと☆農家ハンター



ジビエファームは10月末に完成